

〈特集：教育講演・第26回年次学術集会より〉

序文：教育講演1
「バイオマーカーとしての microRNA」
教育講演2
健康食品で命を落とさないために
～健康食品との上手な付き合い方～

栢森 裕三

Educational lecture1:
"MicroRNAs as the new disease biomarker"
Educational lecture2:
"Don't loose your life with health food
~ How to get along with health food ~"

Yuzo Kayamori

Summary A special story about 2 titles of educational lecture was held in the 26th meeting annual of The Society of Analytical Bio-Science in Okinawa was planned. In educational lecture 1 entitled "MicroRNA as a biomarker", Prof. Sou Umemura of an International University of Health and Welfare was lectured about microRNA observed as a novel biomarker of various disease. In educational lecture 2, Prof. Yoichi Nagamura of Suzuka University of Medical Science was lectured by title as "For never lose our life by healthy food. -How to associate with healthy food-. Much healthy food are flooding a street with health intention rising. It is necessary to use it based on positive knowledge whether these "food" is good for health.

Key words: MicroRNA, biomarker, cancer, pre-analytical phase, healthy food, health intention

沖縄で開催された第26回生物試料分析科学会年次学術集会の教育講演2題についての特集を企画した。教育講演1は、新たな疾患のバイオマーカーとして注目されているmicroRNAについて、国際医療福祉大学の梅村創教授から「バイオマーカーとしての microRNA」と題してご

講演を頂いた。また、教育講演2は、健康志向の高まりとともに多くの健康食品が巷にあふれている。これらの「食品」が健康に良いのかどうか、確かな知識をもとに利用する必要がある。これらを含め、鈴鹿医療科学大学の長村洋一教授から「健康食品で命を落とさないために～健

九州大学大学院医学研究院 保健学部門 検査技術科学分野
〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

Department of Health Sciences,
Faculty of Medical Sciences,
Kyushu University
3-1-1 Maidashi Higashi-ku Fukuoka, 812-8582, Japan

健康食品との上手な付き合い方～」と題してご講演を頂いた。

初めて沖縄で開催された第26回生物試料分析学会年次学術集会の教育講演2題についての特集号を企画した。教育講演-1では、国際医療福祉大学の梅村創教授から「バイオマーカーとしての microRNA」と題してご講演を頂いた。MicroRNAは1993年、線虫で、R. C. Leeらによって最初に発見された21-25塩長の1本鎖RNA分子である。この発見以後、多くの研究者により遺伝子の転写後の調節を行う最も重要な調節因子であることが明らかにされた。現在までに各種生物から35,000種類ものmicroRNAが同定されている。ガンの転移、ウイルス感染、血液疾患等によりある種のmicroRNAが増減することが報告され、疾患の診断や疾患予後の新規バイオマーカーとしての可能性やmicroRNAを用いた遺伝子治療の可能性の報告もある。一方、このような科学的な期待がある中で、報告者間の測定値が比較できない問題点も指摘されている。臨床検査として利用するためには、海外を含めた多くの施設で測定値が統一されていなく

れば疾患と検査データとの蓄積ができず、医療においては大きなマイナスである。今回のご講演では、microRNAを測定するための検体の取扱い、抽出法などの検査手順の標準化の必要性に加え、大腸がん、悪性中皮腫、白血病等の疾患についてのmicroRNAのバイオマーカーとしての有用性について執筆頂いた。

教育講演-2では、鈴鹿医療科学大学の長村洋一教授から「健康食品で命を落とさないために～健康食品との上手な付き合い方～」と題してご講演を頂いた。最近の健康ブームによって多くの健康食品が新聞やインターネットを通して目にすることが多くなっている。専門外の人でも怪しいと思われる「食品」が、まことしやかな宣伝文句に乗せられてあたかも効果があるような法律違反ギリギリのものまで目にすることがある。今回のご講演をもとにして、「健康食品」の有効性、その定義や安全性、医薬品との併用の問題点、そして「健康食品」をどのように考えたら良いのかについて食品の安全に詳しい長村教授に執筆頂いた。